

週間漁海況情報—第3号

平成28年1月26日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

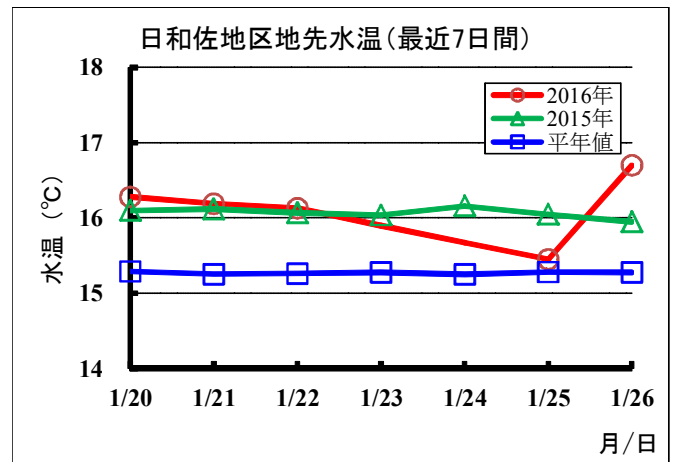
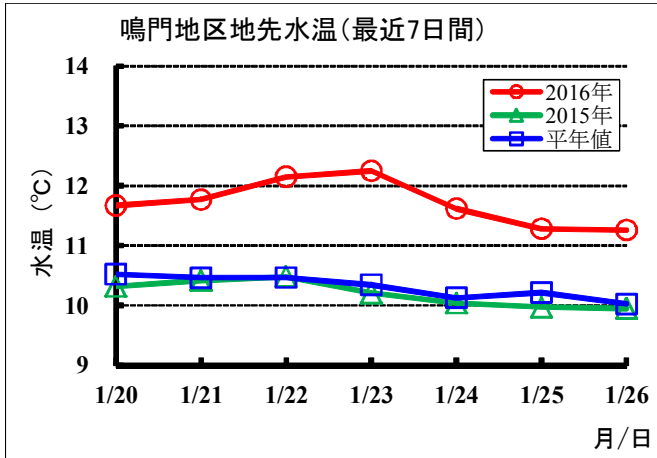
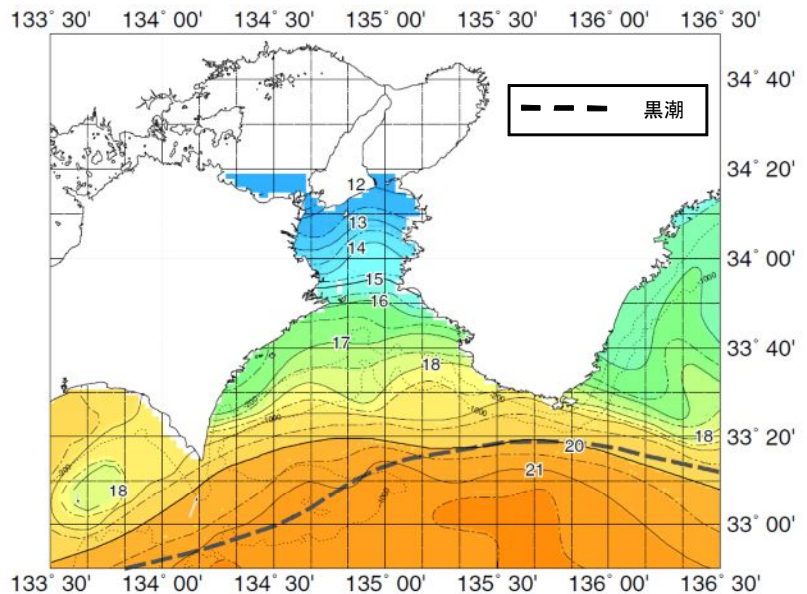
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H28.1.26）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は20～21℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11℃台、紀伊水道で11～15℃台、海部沿岸では15～16℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。



地先水温: 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の11.3～12.3℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.5～16.7℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の16.0～17.3℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並: ±0.49以下, やや高め(やや低め): ±0.50～1.49, 高め(低め): ±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め): ±2.50以上

* 平年値 鳴門地区: 1981～2010年の平均値、日和佐地区: 1982～2010年の平均値

* 日和佐地区 1/23, 1/24 揚水ポンプ停止により欠測

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にシロサバフグが0.2トン（1日1隻あたり22kg）、クロサバフグが0.2トン（同28kg）、特大・大主体にサワラが0.2トン（同14kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でカタクチイワシが1.6トン（同60kg）、メジナが0.8トン（同30kg）、アオリイカが0.4トン（同6kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大・中主体にタチウオが0.2トン（同23kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2016年1月18日～2016年1月24日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	シロサバフグ	9	197	22	大主体
		クロサバフグ	8	227	28	
		サワラ	11	153	14	特大・大主体
小型定置網		カタクチイワシ	26	1,563	60	
		メジナ	26	783	30	
		アオリイカ	61	350	6	
釣り		タチウオ	7	162	23	大・中主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の1月19日～1月26日には、海部沿岸で、延縄で大主体にキダイが0.5トン、アマダイが0.2トン、大主体にサバフグが0.3トン、シマフグが0.5トン、小型定置網でアオリイカが0.3トン、メジナが0.3トン、かます類が0.2トン、大型定置網でマメ主体にマアジが0.2トン、小主体にサバ類が0.9トン、小主体にケンサキイカが0.2トン、釣りでメジロが0.3トン、大主体にアオリイカが0.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「離岸」、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の11～10℃台、日和佐地先で「やや高め」～「平年並み」の16～15℃台で推移する見込み。